

# 洪水について

梅雨の時期や台風の季節には、わたしたちに何度も大雨による洪水などで大きな災害をもたらしています。災害について知り・備え、防災ハザードマップを参考に洪水災害から身を守りましょう。

## 氾濫とは

### 外水氾濫

台風や大雨によって川の水が堤防からあふれたり、堤防が決壊したりすることで発生する洪水のことです。外水氾濫では、大量の水が一気に堤防を越えて氾濫することになるので、河川に隣接する住宅地や田畑などでは短期間で甚大な被害をもたらすことがあります。また、一気に水が流れ込むことから人的な被害が出る可能性も高くなります。たとえ下流部分ではそんなに雨が降っていても上流の山間部では大雨が降っており、それによって河川の水が増えて下流で氾濫する可能性もあるので注意が必要です。

内水氾濫  
・外水氾濫のイメージ



### 内水氾濫

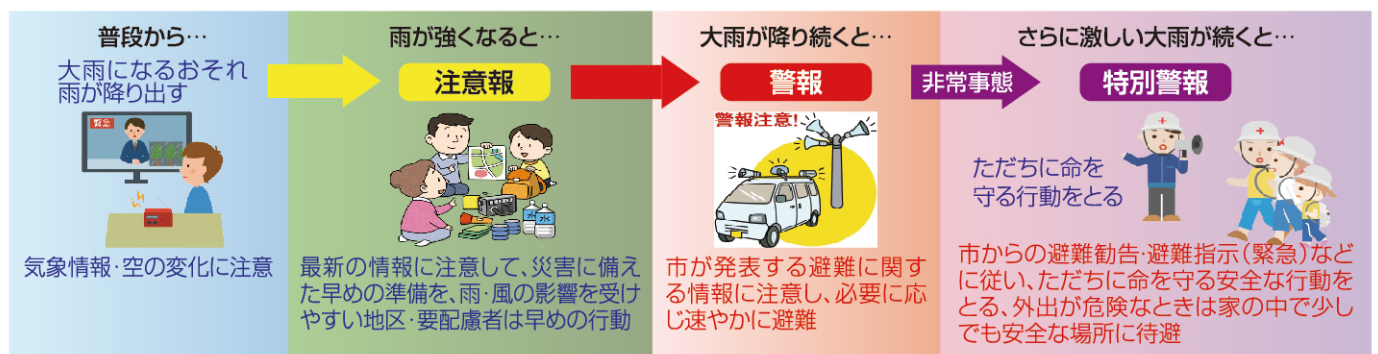
内水氾濫とは、市街地に降った雨が、短時間で排水路や下水管に一気に流入し、雨水処理能力を超えてあふれたり、川の水位が上昇して雨水をポンプで川に流せず、市街地の建物や土地、道路などが浸水することです。

## 雨の降り方と強さ

1時間雨量	10~20mm未満	20~30mm未満	30~50mm未満	50~80mm未満	80mm以上
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
人の受けるイメージ	傘がザッと降る 	どしゃ降り 	バケツをひっくり返したように降る 	滝のように降る 	息苦しくなるような圧迫感がある 
人への影響	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	傘をさしていてもぬれる		傘は全く役に立たなくなる	
屋内の様子 (木造住宅を想定)	雨の音で話し声が良く聞き取れない		寝ている人の半数くらいが雨に気がつく		
屋外の様子	地面一面に水たまりができる		道路が川のようにになる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	

## 大雨・洪水注意報・警報・特別警報

大雨・洪水による災害が起きると予想された際、その災害の重大さに応じて注意報・警報・特別警報が気象庁などから発表されます。普段から指定避難所等や避難経路を確認し、最新の情報に注意して早め早めの行動を心がけましょう。



## 避難勧告等の発令基準

河川水位と住民に求める行動	祇園川 (祇園観測所)	福所江 (境川橋観測所)	晴気川 (船田橋観測所)	牛津江川 (牛津江観測所)	警戒レベル4 避難指示(緊急) 避難勧告発令	重大な災害がおこる 恐れがある水位
氾濫危険水位	257cm	253cm	190cm	337cm	避難勧告発令の目安水位 住民の避難判断目安水位	
避難判断水位	230cm	219cm	170cm	326cm		
氾濫注意水位	150cm	150cm	140cm	310cm	警戒レベル3 避難準備・高齢者等避難開始	災害発生危険性がある水位
水防団待機水位	120cm	120cm	120cm	210cm		水防団活動の目安水位
普段の水位					警戒レベル2	

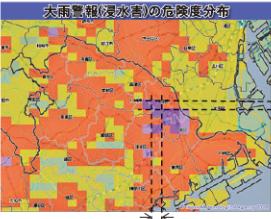
# 大雨・洪水の危険度情報と避難

## 避難のタイミングをつかむための情報(大雨)


大雨警報(浸水害)の危険度分布は、大雨警報(浸水害)を補足する情報です。水路などで排水しきれないほどの大雨が短時間で降ったことが原因で、河川と関わりなく発生する浸水害(いわゆる内水氾濫)発生危険度を5段階に判定した結果を表示しており、どこで危険度が高まっているかを把握することができます。危険度の判定には1時間先までの表面雨量指数の予測値を用いています。

**大雨警報(浸水害)の危険度分布を確認**


<https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/inund.html>  
浸水害の危険度を1kmメッシュごとに詳しく予想しています



スマホで簡単アクセス



大雨警報(浸水害)が発表されて、危険度が黄色になった。地下室から出よう。



色が持つ意味	想定状況と住民がとる行動	自治体から発令される避難情報
高↑危険度↓低	<b>極めて危険</b> 重大な浸水害が <b>すでに発生</b> しているおそれが高い <b>極めて危険</b> な状況。	
	<b>非常に危険</b> 道路が一面冠水し、側溝やマンホールの場所が分からなくなるおそれがある状況。周囲の状況を確認し、 <b>各自の判断で、屋内の浸水が及ばない階に移動する。</b>	<b>警戒レベル4相当</b> 避難勧告
	<b>警戒</b> 側溝や下水が溢れ、道路がいつ冠水してもおかしくない状況。 <b>安全確保行動をとる準備をして、早めの行動を心がける。高齢者等は速やかに安全確保行動をとる。</b>	<b>警戒レベル3相当</b> 避難準備 高齢者等避難開始
	<b>注意</b> 住宅の地下室や道路のアンダーパスに水が流れ込むおそれがある状況。各自の判断で、住宅の地下室からは地上に移動し、道路のアンダーパスには近づかないようにする。	
今後の情報等に留意	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	


周囲より低い場所にある家屋では、赤色以上の危険度となった場合は、床上への浸水がいつ発生してもおかしくない状況のため、屋内の高いところや場合によっては屋上へ移動するなど、安全確保行動を心がけてください。

## 避難のタイミングをつかむための情報(洪水)


洪水警報が発表されたら、川の水位が上がる前の早いうちから洪水警報の危険度分布を見てください。自分がいる場所の上流地点も含め、危険度が高まっている場合には、早めの避難行動を心がけてください。

**洪水警報の危険度分布を確認**


<https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/flood.html>  
浸水害の危険度を詳しく予想しています



スマホで簡単アクセス



洪水警報が発表されて、危険度が薄い紫になった。この地域から高台の知人の家へ避難しよう。



色が持つ意味	想定状況と住民がとる行動	自治体から発令される避難情報
高↑危険度↓低	<b>極めて危険</b> 重大な洪水災害が <b>すでに発生</b> しているおそれが高い <b>極めて危険</b> な状況。	
	<b>非常に危険</b> 河川がさらに増水し、今後氾濫し、重大な洪水災害が発生するおそれが高い状況。 <b>氾濫危険水位を超えたら速やかに避難を開始する。</b>	<b>警戒レベル4相当</b> 避難勧告
	<b>警戒</b> 避難判断水位を超えたら、避難の準備が整い次第、避難を開始する。高齢者等は速やかに避難を開始する。	<b>警戒レベル3相当</b> 避難準備 高齢者等避難開始
	<b>注意</b> 今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	
今後の情報等に留意	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	

洪水予報河川の洪水で命に危険が及ぶ地域では、指定河川洪水予報の内容に応じた避難を心がけてください。それ以外の河川の洪水で命に危険が及ぶ地域では、赤色以上の危険度となった場合は、水位等の河川の現況も確認の上、命を守るための避難行動を心がけてください。

### 大雨・洪水災害からの避難ポイント

長靴は水が入って歩きにくく危険です、運動靴をはきましょう。



足元が見えないことが多いので、よく通っている道でも道路の真ん中を慎重に歩きましょう。



橋を渡らないようにしましょう。

田んぼの見回りなどは避けましょう。



道路冠水時は、側溝、水路、マンホール(フタがとれている可能性あり)、坂道(水深が浅くても水の流れが速い)、ため池などが危険です。



#### 車は冠水に弱い

水深30cmで、ほとんどの車のエンジンは止まってしまいます。従って浸水や冠水の危険を感じたら、すみやかに車を高台などに移動させましょう。冠水のためエンジンが止まったり、車のフロア面を超えて浸水・冠水した場合、エンジンの吸気系に水が入っているかもしれないので、道路の水が引いたからといってそのままエンジンをかけると、故障するおそれがあります。



#### アンダーパス

道路交差などで路面が低くなっているところは、水がたまるおそれがあるので、車で入らないようにしましょう。

